



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょう ざい と しょ しょう かい

自分の作文を自分で見直す力をつける

『留学生のための ここが大切 文章表現のルール』

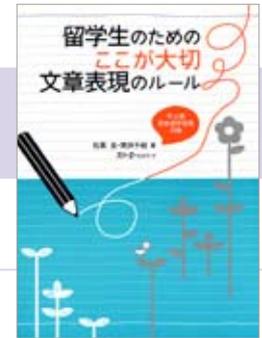
りゅう せいの ための ここ が たいせつ ぶんしょう びょう げん

著者：石黒 圭、筒井千絵

出版社：スリーエーネットワーク

URL : <http://www.3anet.co.jp/> 発行年月：2009年5月

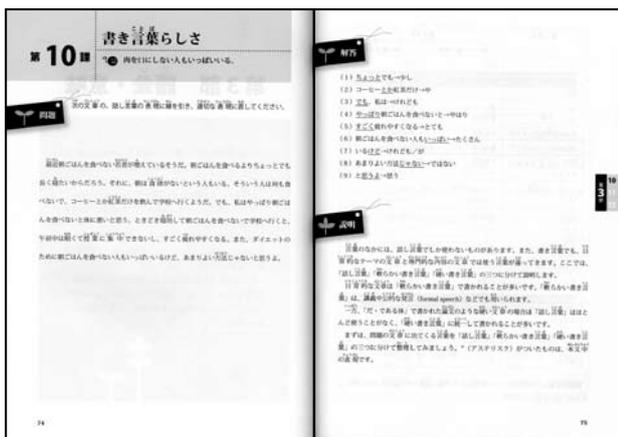
ISBN:978-4-88319-502-2 判型・頁数：B5判、146頁、別冊解答例28頁 定価：1,680円



「先生、作文を書きました。正しい日本語に直してください。」学習者がそう言われて作文を見ると、まちがいがたくさんある。授業で何度も教えたと、文法のテストでは正解なのに…正しく直して返しても、次の作文でまた同じところをまちがう。そんな経験はありませんか。この教材は、教師がまちがいを直して正しい日本語を与えるかわりに、学習者が自分で書いた作文を自分で見直す力をつけることを最終的な目的としています。

▽見直す習慣と力を身につけるためのステップ

各課は「問題→解答→説明→練習→発展」の5つのステップから構成されています。



p.74 問題
もんだい

p.75 解答と説明
かいとう せつめい

最初にルールを覚えるのではなく、不自然な表現を含んだ文章を読んで、それを探して直す「問題」から始めることで、学習者が自分で作文を見直す習慣をつけます。次に「解答」「説明」で不自然な理由を理解して、短い文

でたくさん「練習」することで、見直すための知識と技術を身につけます。最後に「発展」でもう一度長い文章の見直しをやることで、見直す力がついたか確認できます。

▽「わかりやすい」文を書くのに必要なポイント

学習者がまちがえたときに、教師が「正しい文」を与えても、それが学習者の言いたいことを「正しく」伝えるとは限りません。そのかわりにこの本は、読む人のことを考えて、適切でわかりやすい文を書くことを大切にしています。著者は、これまでに大学などで教えてきた学習者の書いた作文を丁寧に調べて、よくあるまちがいや、不自然でわかりにくい書き方を分類してこの本を作りました。その内容は、表記や語彙、文法だけではなく、談話、読み手への配慮など、文を書くときに大切なポイントを全体的にカバーしています。

非常にわかりやすく整理してあるので、大学の留学生でなくても、中級、上級に共通する問題点について学習するのに役立ちます。

▽自立した書き手へ

このほかにも、インターネットを使ってことばの使い方を調べる方法を紹介するなど、学習者が独り立ちするのを手助けするしかけがいろいろあります。教師は一生宿題を見てあげることはできないのですから、コース中、コース終了後も、自立した書き手として成長していき、伝えたい内容が伝わる文を書けるようになってほしい、そんな気持ちがこめられた教材です。